

学生、卒業生、保護者の皆さまへ

今後の大阪市立大学について

大阪市立大学と大阪府立大学との統合につきましては、当初、平成28年度の大学統合をめざし、大阪府、大阪市及び両大学の四者で検討を進めてきましたが、平成25年度秋の市会において、統合関連議案が否決されました。その後、改めて、平成26年4月に知事と市長から「今後は、この間の大学統合に関する議論の状況を踏まえ、両大学で主体的に大阪における公立大学のあり方について検討するように」との指示がありました。両大学としては、さらなるグローバル人材の育成が期待され、ますます国内外の大学間競争の厳しさが増すなか、今後の公立大学のあり方を考えると、大阪の発展を牽引する「知」の拠点として、新大学の実現が望まれるものと考え、平成27年2月、「新・公立大学」大阪モデル（基本構想）を策定・公表したところです。本学としましては、2月に策定したこの「新・公立大学」大阪モデル（基本構想）について、今後とも大阪府立大学と議論をし、グローバルキャンパスの開設など、さらなる連携強化を図っていききたいと考えています。

新大学の検討や大学の考え方、「新・公立大学」大阪モデル（基本構想）につきましては、これまで折りに触れ、ホームページ等においても情報を公表していますが、「新・公立大学」大阪モデル（基本構想）はまだ骨子の段階です。大阪市立大学と大阪府立大学との統合による新大学の実現につきましては、現在、大阪府議会及び大阪市会で審議中であり、今後、新大学の方向性が確定した段階で、在学生や保護者をはじめとしたステークホルダーの方々に説明する機会を設けさせていただき、皆さまからもご意見をいただきたいと考えています。

また併せて、統合議論の有無にかかわらず、本学においては、これまでも増して教育改革を推進する計画を立てています。初年次での集中教育による英語力強化、初年次教育を効果的かつ集中的に行うためのクォーター制度の導入、留学（海外研修）の促進による国際力強化等、グローバル人材の育成に力を注ぎ、学生の皆さまに世界で活躍することをめざして学んでいただける環境を整えていききたいと考えていますので、皆さまもこれまで以上に高い目標を掲げ、視野を広げていただきたいと思います。

平成27年10月

大阪市立大学

学長 西澤 良記